

(別記)

2020年度嘉島町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は、全耕地面積に占める水田の割合及び水田の基盤整備率は90%を超えており、水稲・小麦・大豆作付けを主とした土地利用型農業を展開することで、土地利用率は170%以上となっている。

本町が抱える課題として、減少傾向にある各作物の単収を増加させる必要があるため、関係機関と協力・連携していきながら、単収増加に向けて取り組み、稼げる農業を実現し、将来の営農存続に向け、今後も取り組んで行く。

2 作物ごとの取組方針等

町内の約724haの水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、特に、大豆を転作作物の中心作物として位置付け、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ米の生産を行うとともに、熊本県推奨うまい米基準プレミアム米Sランクの安定供給を目指す。また、多様なニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進についても検討する。

(2) 非主食用米

- ア 飼料用米
- イ 米粉用米
- ウ 新市場開拓用米
- エ WCS用稲
- オ 加工用米
- カ 備蓄米

本町の輪作体系を考慮しつつ、水田活用の直接支払交付金を活用したWCS用稲の取組を検討する。
その他の非主食用米については、現時点では推進する予定はない。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、実需の求める品種の作付け拡大を推進し、一大主産地を目指す。また、弾丸暗きよ等排水対策を図りながら、栽培管理の遵守による多収・高品質麦を目指す。さらに、産地交付金を活用して担い手（認定農業者）への集約、麦の二毛作の作付けを促進し、儲かる産地作りを進める。

大豆については、今後も転作作物の中心作物と位置づけ、主産地になるよう作付面積の増加、担い手への集約を図る。具体的には、集落単位での団地化から、町全域をカバーする広域農場及び個人の認定農業者と協力し、広域的（町全域的）な団地化による生産に取り組んでいる。さらに、2年3作のブロックローテーションを確立し、連作障害を回避するとともに、弾丸暗きよ等排水対策徹底による栽培管理

遵守により、平均収量 270kg/10a 以上の生産を目標とする。また、地元メーカーとの連携による加工・販売を推進し、高品質な生産物の安定的な出荷により高付加価値化を目指す。

(4) そば、なたね

現時点で、作付を推進する予定はない。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

産地交付金における園芸作物（野菜等）への支援を行いながら、今後作付面積の維持・拡大を図る。特に「いちご」、「トマト」、「ニラ」等を振興品目として他品種からの転換、作付面積の拡大を図る。

また、花き・花木についても、水田の有効利用に効果的であることから、今後も作付に対して支援を行う。

(6) 畑地化の推進

畑地化については、米・麦・大豆を中心とした土地利用型農業の影響が少ない場所を選定しながら、慎重に進めていく。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定 面積 (ha)	2020 年度の作付目標 面積 (ha)	2021 年度の作付目標 面積 (ha)
主食用米	331.1 ha , 1,291 t	346.2 ha , 1,903 t	346.2 ha , 1,932 t	346.2 ha , 1,903 t
飼料用米	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
米粉用米	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
新市場開拓用米	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
WCS 用稲	4.8 ha	1.0 ha	1.0 ha	1.0 ha
加工用米	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
備蓄米	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
麦	583.5 ha	640.0 ha	640.0 ha	640.0 ha
大豆	339.4 ha	346.2 ha	346.2 ha	346.2 ha
飼料作物	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
そば	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
なたね	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
その他地域振興作物	13.9 ha	17.0 ha	17.0 ha	17.0 ha
野菜				
・いちご	5.0 ha	4.7 ha	5.0 ha	5.0 ha
・トマト	3.0 ha	2.6 ha	3.0 ha	3.0 ha
・花き、花木	2.0 ha	1.8 ha	2.0 ha	2.0 ha
・その他	7.0 ha	6.9 ha	7.0 ha	7.0 ha

※主食用米の当年度及び 2021 年度の目標値において使用した単収は 549kg/10a

※主食用米の 2020 年度作付目標値において使用した単収は 558kg/10a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2019 年度	2020 年度
1	大豆	大豆の団地化助成 （基幹）	作付面積の拡大	339.4ha	346.2ha
			平均単収の増加	142kg/10a	270kg/10a
2	麦	麦の二毛作助成麦の （二毛作）	作付面積の拡大	583.5ha	640ha
			土地利用率の拡大	176%	180%
3	大豆・麦	大豆・麦の担い手加 算（基幹）	作付面積の拡大	349.3ha	350ha
			平均単収の増加 （大豆）	142kg/10a	270kg/10a
			平均単収の増加 （麦）	419kg/10a	420kg/10a
4	野菜、花き・花木	地域振興作物助成 （基幹）	作付面積の拡大	13.9ha	17.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。（目標値の上段括弧書きは変更前の数字。）